

世界演劇祭 テアター・デア・ヴェルトへようこそ！

6月29日～7月16日にフランクフルト・オッフェンバッハで開催される世界演劇祭。  
日本人のプログラム・ディレクターを招いた本演劇祭では、日本からも多数のアーティストがやってきます。以下、日本語話者の皆様楽しんでいただけるプログラムを厳選してご案内しております。  
ぜひこの機会に、日本や世界から集まる最先端のパフォーマンスやアート作品をお楽しみください！

日本語でのお問い合わせ：[info@theaterderwelt.de](mailto:info@theaterderwelt.de) (担当: 相馬・戸田)

岸田國士戯曲賞受賞作家、市原佐都子の代表作・新作を2作品上演！



『バックスの信女 — ホルスタインの雌』  
作・演出：市原佐都子 (東京)

演劇祭全体の  
オープニング作品！

一見普通の主婦、そのペットの雄イヌ、人工授精で生まれたウシと人間のハーフ、12匹の雌のホルスタインの靈魂たちによる合唱隊(コロス)。彼らが奏でる音楽劇は、ヒトと動物の境を揺さぶり、私たちの秘めた欲望を触覚的に刺激する。

【日時】 6/29(木) 19:00, 6/30(金) 20:00  
【会場】 キャピトルシアター(オッフェンバッハ)  
【上演時間】 約150分 【言語】 日本語/ドイツ語・英語字幕付き  
【チケット】 42 | 28 | 17ユーロ(割引8ユーロ)



『弱法師』 作・演出：市原佐都子 (東京)

パンクな薩摩琵琶の  
生演奏つき♪

ラブドール、マネキンなどの人形が舞台上に登場し、クイアの視点から、日本古来の「俊徳丸伝説」を現代に再解釈する新しい人形劇。文楽に倣い、人形、義太夫(ナレーション)、琵琶奏者が舞台を担う。

【日時】 7/14(金) 21:00, 7/15(土) 17:00, 7/16(日) 16:00  
【会場】 Schauspiel Frankfurt, Kammerspiele(フランクフルト)  
【上演時間】 約90分 【言語】 ドイツ語/英語・日本語字幕付き  
【チケット】 28 | 17ユーロ(割引8ユーロ)

日本の妖怪たちが跋扈する、アニメーション映像の舞台化。



『百鬼夜行』  
ホー・ツーニエン (シンガポール)

妖怪アニメ好きにおすすめ

日本に古来から伝わる妖怪は、今でもアニメやマンガの世界で生き続けている。第二次世界大戦中にアジアで活動し、戦後、姿を消した日本兵やスパイたちも妖怪の大打進に紛れ込む、巨大なアニメーション演劇作品。

【日時】 7/1(土)、7/2(日) 14:00, 15:30, 17:30, 19:00, 20:30  
7/3(月)、7/4(火) 15:30, 17:00, 19:00, 20:30  
【会場】 Bockenheimer Depot(フランクフルト)  
【上演時間】 約90分 【言語】 日本語/ドイツ語・英語翻訳つき  
【チケット】 15ユーロ(割引8ユーロ)

VR/AR技術を使った最先端パフォーマンス。  
3D映像やゲーム表現に興味のある中学生以上におすすめです。



『太陽との対話 (VR)』  
アピチャップン・ウィーラセタクン (チェンマイ)  
音楽: 坂本龍一

音楽は坂本龍一さんが  
2022年に作曲

タイの巨匠映画監督初のVR作品。音楽は坂本龍一が担当。VR内の映像が、個人的な空間と眠る身体との間にある、白昼夢のように漂う世界の岸辺へと私たちを誘う。それは生命の起源への回帰か、それとも臨死体験か。

【日時】 6/29(木)、6/30(金)、7/6(木)、7/7(金)18:00 - 21:00  
1/7/1(土)、1/7/2(日)、8/7/8(土)、7/9(日)14:00 - 21:00 ※30分毎に開始  
【会場】 Alte Schlosserei(オッフエンバッハ)  
【上演時間】 約60分 【言語】 タイ語/ドイツ語・英語字幕  
【チケット】 20 ユーロ (割引8ユーロ)



『縛られたプロメテウス』 小泉明郎 (横浜)

メディア芸術大賞受賞作🏆

本作が描き出すのは、最先端のテクノロジーによって人々の意識が永遠の命を獲得する世界。そこはユートピアか、それともディストピアか？  
2020年文化庁メディア芸術祭アート部門大賞受賞作品。

【日時】 7/13(木)、7/14(金)18:00-21:00  
7/15(土)14:00-21:00 7/16(日) 14:00-19:00 ※30分毎にスタート  
【会場】 Alte Schlosserei(オッフエンバッハ)  
【上演時間】 約60分 【言語】 日本語/ドイツ語または英語訳付  
【チケット】 20ユーロ(割引8ユーロ)



『解放されたプロメテウス』 小泉明郎 (横浜)

アバターの中に入る  
VR体験

コロナ禍において、システムの間で宙吊りになった人間たちの、ヴァーチャルな身体、ささやき声、夢と悪夢。アバターが浮遊する中を観客たちが移動しながら体験するVR彫刻。

【日時】 6/30(金)-7/16(日)(月曜日を除く)  
【会場】 フランクフルト応用美術館  
【言語】 日本語/ドイツ語・英語訳付 【上演時間】 約25分  
【チケット】 美術館入場券 15ユーロ(割引8ユーロ)



『火を運ぶプロメテウス』 小泉明郎 (横浜)

公園の特設テント内で  
一人ずつVR体験

遺伝子工学によって人間の身体や心が変容したとき、私たちの本能はどのように書き換えられるのだろうか？プロメテウスVR三部作の最終章である本作で、アーティスト小泉明郎は「新しい火」を発見する驚きの旅へと私たちを誘う。

【日時】 7/5(水)-7/9(日)  
【会場】 フランクフルト応用美術館 Metzlerpark  
【上演時間】 約30分  
【言語】 日本語/ドイツ語または英語訳付  
【チケット】 15ユーロ(割引8ユーロ) \* 美術館全体の入場券とは別に、予約・購入が必要

赤ちゃん、幼児、小学生、ティーンエイジャーまで。  
言語のバリアなく、お子様の年齢に応じて一緒に楽しめる作品多数。



『Super Farm』  
サエボーグ (東京)

2歳から大人まで、  
誰もが動物に変身できます🐾  
会場は動物園!

サエボーグの世界へようこそ!ここでは、ラテックス製の奇妙でかわいい家畜たちが暮らしています。ぜひこのファンタジーの世界を訪れ、ユニークな動物との出会い、そしてご自身も動物への変身をお楽しみください。

【日時】 7/2(日)16:00 | 7/3(月)、4(火)10:00、16:00  
【会場】 Zoogesellschaftshaus(フランクフルト)  
【対象】 2歳以上 【言語】 なし  
【上演時間】 約60分  
【チケット】 15ユーロ(割引8 | 5ユーロ)



『忘れられた森の夢』  
コレクティヴ・カラバ (バイレート)

会場はオフエンバッハの  
人気スポットHafen2

音とイメージの詩的な相互作用によって、観客を官能的な白昼夢へと誘う。嵐のような出来事が終わり、まだ新たな出来事が始まる前の地点から、物語は始まる。一人の少女が目を覚ますと…。ご家族連れで気軽に楽しめる作品です。

【日時】 7/7(金)10:00、11:00、17:00、18:00、7/8(土)14:00、15:00、17:00、18:00  
【会場】 Hafen 2(オフエンバッハ)  
【対象】 5歳以上  
【上演時間】 約20分 【言語】 なし  
【チケット】 15ユーロ(割引8ユーロ)



『SCOOP: 赤ちゃんのための舞台』  
コレカ・プトウマ (ケープ・タウン)

1歳までの赤ちゃんとその  
同伴者向け

居心地の良いテントの中で、小さな物や音、多層的な歌声を駆使して繰り広げられる、赤ちゃんとそのお世話する人たちのための舞台です。

【オフエンバッハ公演日時】 7/7(金)、7/8(土)10:00、11:30、14:00、15:30  
【オフエンバッハ公演会場】 Frankfurter Straße 39(オフエンバッハ)  
【フランクフルト公演日時】 7/9(日)、7/10(月)10:00、11:30、14:00、15:30  
【フランクフルト公演会場】 Mousonturm(フランクフルト)  
【対象】 1歳までの赤ちゃんとその同伴者向け  
【上演時間】 約30分 【言語】 なし  
【チケット】15ユーロ(大人1名・赤ちゃん1名分)

その他、子供・青少年向けのプログラムはYoung Worlds というタグ付きでご案内しております。詳細はパンフレットおよびウェブサイトをご覧ください。

世界演劇祭 テアター・デア・ヴェルトへようこそ！

6月29日～7月16日にフランクフルト・オッフェンバッハで開催される世界演劇祭。日本人のプログラム・ディレクターを招いた本演劇祭では、日本からも多数のアーティストがやってきます。以下、日本語話者の皆様に楽しんでいただけるプログラムを厳選してご案内しております。ぜひこの機会に、日本や世界から集まる最先端のパフォーマンスやアート作品をお楽しみください！

日本語でのお問い合わせ: [info@theaterderwelt.de](mailto:info@theaterderwelt.de) (担当: 相馬・戸田)

岸田國士戯曲賞受賞作家、市原佐都子の代表作・新作を2作品上演！



『バックスの信女 — ホルスタインの雌』  
作・演出: 市原佐都子 (東京)

演劇祭全体の  
オープニング作品！

一見普通の主婦、そのペットの雄イヌ、人工授精で生まれたウシと人間のハーフ、12匹の雌のホルスタインの靈魂たちによる合唱隊(コロス)。彼らが奏でる音楽劇は、ヒトと動物の境を揺さぶり、私たちの秘めた欲望を触覚的に刺激する。

【日時】 6/29(木)19:00, 6/30(金)20:00  
【会場】 キャピトルシアター(オッフェンバッハ)  
【上演時間】 約150分 【言語】 日本語/ドイツ語・英語字幕付き  
【チケット】 42 | 28 | 17ユーロ(割引8ユーロ)



『弱法師』 作・演出: 市原佐都子 (東京)

パンクな薩摩琵琶の  
生演奏つき♪

ラブドール、マネキンなどの人形が舞台上に登場し、クイアの視点から、日本古来の「俊徳丸伝説」を現代に再解釈する新しい人形劇。文楽に倣い、人形、義太夫(ナレーション)、琵琶奏者が舞台を担う。

【日時】 7/14(金)21:00, 7/15(土)17:00, 7/16(日)16:00  
【会場】 Schauspiel Frankfurt, Kammerspiele(フランクフルト)  
【上演時間】 約90分 【言語】 ドイツ語/英語・日本語字幕付  
【チケット】 28 | 17ユーロ(割引8ユーロ)

日本の妖怪たちが跋扈する、アニメーション映像の舞台化。



『百鬼夜行』  
ホー・ツーニエン (シンガポール)

妖怪アニメ好きにおすすめ

日本に古来から伝わる妖怪は、今でもアニメやマンガの世界で生き続けている。第二次世界大戦中にアジアで活動し、戦後、姿を消した日本兵やスパイたちも妖怪の大打進に紛れ込む、巨大なアニメーション演劇作品。

【日時】 7/1(土)、7/2(日)14:00, 15:30, 17:30, 19:00, 20:30  
7/3(月)、7/4(火)15:30, 17:00, 19:00, 20:30  
【会場】 Bockenheimer Depot(フランクフルト)  
【上演時間】 約90分 【言語】 日本語/ドイツ語・英語翻訳つき  
【チケット】 15ユーロ(割引8ユーロ)